



発行責任者 柳 利夫
 住所 東村山市萩山町5-6-26-301
 Tel. 0423-92-8808
 編集者 川村 英明

創刊七周年

東村山市の皆様へ

若林 忠夫
 愛子

(市民テニス創設時の会員で、現在、多摩市硬式
 庭球連盟会長ご夫妻です— 編集部)

東住クラブが発足してから今年で7年目を迎えたこのことですが、誠にお目出とうございます。

私共がお世話になっていたのも、つい先日のような気持ちが出ておりますが、おかげ様で私も7年のキャリアを教えることになりました。

私が初めてコートに入った時の様子をふり返ってみますと、7年前の5月の日曜日のことでしたが、家内に首になわをかけ引張られる思いで市営コートに連れてこられて、硬式を初めて打たせてもらったのです。その時の相手はどなたか定かではありませんが、とにかく球は私の意図するところと全く違うコースを飛ばすのです。私としては軟式を少し経験しておりましたので、こんな等ではなかったのにと、思うとかなりショックでした。たしかその時、コートの横で大声で励ましの声をかけていただき大変うれしい思いをいたしました。例の調子であったところから推察すると、その方は柳さんであったと思います。

その後、何かにつけて柳さんをはじめ皆様方の心暖まるおつき合いをさせていただき感謝にたえません。ここに改めてお礼申し上げる次第です。おかげ様ですっかりテニスのとりこになってしまい、週休2日制になっても、3日制になっても退屈することはないものと確信しております。

さて、当時のことを思い出すと、とてもなつかしく涙の出る思いがいたします。とくに初めの頃は練習が終るとコートのわきの芝生の上で宴会がはじまり大変な賑わいでした。また集会所で会議が終ると直ちに一杯、そして家族ぐるみの合唱と続き、とても楽しい雰囲気でした。このようにテニス仲間に入れていただいていた数年間は、楽しい思い出ばかりでいっぱいです。この間、私は連盟に参与させていただき、ずいぶん勉強になりました。その経験は現在大変役に立っております。

51年3月に多摩市に移ってからは、新しいまちであったため、テニスの環境づくりからはじめなければなりません。すなわち、まずコートの確保、クラブづくり、それから連盟の結成と一歩一歩築きあげていきました。おかげ様で現在は、これらの地固めも一段落して、クラブの責任者の席も後進にゆずり連盟の会長に専心しております。

昨年の11月、東村山市で開催された市町村対抗の団体戦に私は多摩市の監督として選手を引率して参りましたが、その時柳さんが「うちから出ていった者が、選手を連れてくるなんて、うれしいじゃないか」とつぶやいたのを聞いて、報われたという気持ちがありました。

東村山市の皆様さん、皆様さんがやっていることはすばらしい。組織づくりに、行事に、そして「ガット」に、それぞれ見習うことがいっぱいあります。

それにつけても、うらやましいのは、太田先生、森先生

といった日本庭球界の第一人者を擁していることです。私どもも、そのおこぼれを頂戴して先輩市に負けないよう頑張りたいと思います。どうか胸をかしていただけるようお願いして終りといたします。

“樺の木は残った”

(旧会員2号) 乾 和義

テニス倶楽部が誕生して7年目を迎えたという。本当に歳月の経つのは早いものである。当初、柳さんを中心に幾人かの人達でスタートした倶楽部ではあったが、今では5倶楽部二百数十人にまで成長し、大きな組織になったと聞く。喜ばしいことである。これも偏に、世話役の方々とそれを支えてきた会員の方々の心が一体になって運営されてきたからであろう。

私も初めの内だけではあったが仲間に入れていただいた。以前に柳さんと練習していた所為もあったが、はるばる石神井から訪ねて一緒に愉しませていただいた。ヘタクソで球に戯れているに過ぎないという状態であったけれど、嬉しい思い出である。どなたかが『ガット』に書かれているように、テニスの時間より、その後の反省会(実は飲み会)の時間のほうが長くかかったのも事実である。

早朝、コートに向かう途中の、松平藩の治水事業の史蹟、野火止川の風景と、あの鬱蒼と繁った樺の木の印象は強い。今でも私の脳裡に鮮明に浮かぶ。本当に環境に恵まれた東村山のコートであった。

しかしながら、地域グループに異質な部外者。会員も段々と増してきたため、遠慮することとなったのである。だが倶楽部も、今ではあの大きな樺の木と同じように成長してきている。これからは、ひと回りも、ふた回りも大きくなるように年を経ていただきたいものである。

会員の皆様、柳さん、オメデトウ。

春のミニ合宿 足利へ14名参加

恒例になってきた春のミニ合宿は、大型連休の幕明け4月28日(土)からの二泊三日、当初予定した10名の定員に対し女子6名、男子8名が参加、足利市のホプラT.C.を練習コートに実施しました。

初日は8時に東住宅の給水塔脇に集合、13時から18時まで、2日目の29日は9時から17時半、3日目は9時から14時までとタップリ練習しました。

全日程を通し、天候に割合い恵まれ予定通り成功裡に終えることができました。

今回の特徴は、宿舎と練習コートを別々にとったことで、結果としては温泉気分にはたりながらのテニスだったこと、二泊目のパーティ(夕食)は、足利市内の一流料亭に会場を設けたことでした。参加費用はすべてを含めて1人約1万5千円也。

(柳 記)

私とテニス <連載19> (恩多クラブ) 荒瀬 正彦

何のためにテニスなんかやっているのかな。ウィンブルドンに出る訳でなし。ストローク一つ満足に出来る訳でなし。試合は出ると負け。練習は疲れるのみ。楽しみのため、気分転換のためと人は云う。果してそうかな? ストロークはヘッピー腰、ボレーは手首でこねくりまわし、スマッシュは空振り、サーブときたら球まかせ、もう少しましにならなけりゃ、楽しみも何もあったものではない。テニスにしても、うまいへたは別にして自分の生きざまを映す面があり、やればやるほど情け無さがつる。ところでテニスは理屈としてはごく簡単なスポーツである。横向いて、腰すえて、球を押し出せばよい。テニスの本など、いくら読んでもそれ以上のことは書かれていない。この簡単な動作がいざとなるとうまくいかない。練習でうまくなろうと思っても無理である。これが最近2・3年の練習から得た唯一の成果、結論である。すなわち、潜在的な能力のある人が練習すればうまくなるが、へたは練習しても無駄である。今後の対策としては、無駄な練習をやめて基本的能力をつけるためにマラソン、なわとびなどに精を出すか、リズム感を養うならダンスを習うかゴーゴーでも通うか(いずれも非現実的)又は柳会長のように全くあきらめて酒でもあびてひっくりかえっているか、二つの道しかない。

仕事をしているのか何をしているのか毎晩遅く疲れて帰り、たまの休みは妻子の白い目を背にコートに向かう。練習成果は疲労のみ。年中腰が痛いのがまわらないのと騒いでいる。私にとってテニスは中毒症状、百害あって一利なし、これタバコと同様。テニスもタバコも今年こそやめるぞ!!

さて明日は早朝練習6時に起きねばならぬ、天気かな?

※右側上段より ○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○終り。
な手になってしまった次第。——でも、テニスへの誘惑押えがたく、このDDT作戦今日は小休止にし、とうとうシャベル握った手にラケットをかえてコートに行ったのです! およそ公営コート10面という恵まれた東村山とは較べものにならないこちらの地では、ひとまず、スクールに入って事情を知ろうと一番近いプリンスホテルにあるトレトンの会に入りました。内容は他のものと大して違いなさそうですが、クラス総勢三人。みっちりしぼられ、何ヶ月分かの汗を一度に流した感じでした。全天候型ハードコートには馴れないのでとまどいでしたが、芝生を横切り、海に面したコートにむかう空気は満更でもありません。ともかく相手がいなければできないテニス——今再スタートをきったばかりで当分は週一回の東の間ですけれど、なんとか息長く続けたいと思っています。

大磯というと屋敷町をご想像かも知れませんが、我が家は、それらの家々の前を通りぬけた端っこにチョコナンとあるささやかなもの。ただ、行きずりに会う人も少ないような一時代前のムード——そう小津調の映画のお好きな方なら、まわりの風情は、気に入っていただけるかも知れません。それから舟が日に三回着く度に仕入れる魚屋さんも見つけました。海の幸だけは自慢できそうです。こちらにいらっしゃるおついでの方は、ぜひ立ち寄り下さい。お待ちしております。

春の大会での皆さんの健闘をお祈りしつつ。
P.S. 声をかけていただければ、いつでもラケットをかかえて、とんでゆきます。

〔3月末は大磯に転居された藤野 梢さん(元恩多クラブ)から4月末にお便りをいただきました。約1ヶ月遅れになりましたが、御紹介いたします — 編集部〕

大磯テニスだより 藤野 梢

皆さん、お元気ですか。今頃は若葉のもえる中、シーズン到来とあって、春の大会をめざし猛練習に励んでいられることでしょうね。ほんとに羨ましい!
ふりかえって私は———と言え、タイトルはかっこういいのですけれど、ラケットとは縁遠い日々の明け暮れ。子供の学校に合わせて慌しく入居したため、家の方は八分通りの出来で、この一ヶ月というもの、人の出(D)入りと、ダンボール(D)と、たけのこ(T)との闘い!? これには訳がありまして——「風情がある」とのたまった主人の一言で残しておいた竹林の合間から、たけのこが顔を出し始めたと思ったら、あちらにピョコリ、こちらにピョコリ。最初は物珍しく今日はお煮しめ、明日は竹のこご飯と匂の味を楽しんでいたものの、家の強敵ともなりかねない相手のこと、もぐら叩き風に堀りかえすハメとなり、シャベルを持ち続けた結果、荷物、洗剤あれに加えて、なんとも無残 (左側中段※へ)

会計部会からのお願い 下半期の会費を銀行振込で納入して下さい

6月になりました。6月は下半期の会費の納入月です。東村山市民テニスクラブ協議会では、先般の「ガット」4月1日号でお知らせした通り、今回から会費の納入を銀行振込で処理させて頂きます。

これまでの経験から、各クラブの会計担当者が会費徴収の都度、大変な労力を費していた訳ですがこれを少しでも軽減する為の手法として導入するものです。初めての試みであり、慣れない方法のためご面倒をお掛けいたしますが、よろしくご協力下さる様お願いいたします。

<銀行振込による会費納入の方法>

- 1. 会費 個人 4,200円(月額700円×6ヶ月分)
個人の家族 3,000円(月額500円×6ヶ月分)
休部会員 500円
- 2. 納入期限 6月1日より6月30日まで
- 3. 取扱銀行・口座は下記の通りです。各所属クラブの「口座名」および「口座番号」を正しくお書き下さい。

所属クラブ	銀行名	口座名	口座番号
東住クラブ	第一勧業 銀行 久米川 支店	東村山市民テニスクラブ協議会 東住クラブ	(普) NO. 1179341 木村美代子
恩多クラブ		東村山市民テニスクラブ協議会 恩多クラブ	(普) NO. 1179600 木村美代子
本町クラブ		東村山市民テニスクラブ協議会 本町クラブ	(普) NO. 1180137 木村美代子
青葉クラブ		東村山市民テニスクラブ協議会 青葉クラブ	(普) NO. 1180269 木村美代子
美住クラブ		東村山市民テニスクラブ協議会 美住クラブ	(普) NO. 1180153 木村美代子

'79春季市民大会試合結果

5月13日(日)男子ダブルス A

<1回戦>

広川・山口(8-7)茂中・室井 (アメリカン・テニス スクール) , 長谷川・松村(def) 平木・千葉 (一般)

中根・笹野井(3-8)伊藤・伊藤 (一般) , 米田・国川(2-8)石川・迎 (一般)

岩立・新井(8-0)三沢・毛利 (ナカミチクラブ) , 増沢・本保(def) 斎藤・柴田 (明学中)

近藤・翠川(8-5)三上・安川 (ナカミチクラブ) , 佐藤・桜井(1-8)砂原・吉岡 (一般)

桂・筑紫(1-8)鈴木・小池 (日ベル) , 藤岡・西原(2-8)西田・引地 (北山ク)

<2回戦>

武谷・長井(8-0)高野・黒柳 (ナカミチクラブ) , 山崎・森(7-8)桜井・藤林 (グリーンク)

宮崎・山本(8-6)奥山・須山 (北山ク) , 広川・山口(6-3)見城・小出 (明乳ク)

長谷川・松村(8-2)和気・拵井 (明乳ク) , 岩立・新井(1-6)西条・福島 (日ベルク)

増沢・本保(4-8)伊藤・町田 (一般) , 近藤・翠川(0-6)田中・大森 (一般)

荒瀬・松井(8-3)近藤・武内 (一般)

<3回戦>

武谷・長井(6-0)桜井・藤林 (グリーンク) , 宮崎・山本(6-2)広川・山口 (グリーンク)

長谷川・松村(6-3)伊藤・伊藤 (一般) , 荒瀬・松井(3-6)松井・佐藤 (一般)

<準々決勝>

武谷・長井(6-2)宮崎・山本 , 長谷川・松村(3-6)石川・迎 (一般)

<準決勝>

武谷・長井(3-6)石川・迎 (一般) , 武谷・長井(2-6)中野・監物 (日ベルク)

<3位決定戦>

5月27日(日)壮年ダブルス

<1回戦>

鈴木・川村(8-2)柳・森田 , 杉山・中村(2-8)市川・村井 (日ベル)

米田・高瀬(8-2)石崎・大島 (グリーンク) , 米沢・横山(4-8)鎌山・大木 (一般)

<2回戦>

鈴木・川村(8-4)阿辺川・浦川

<準決勝>

米田・高瀬(8-3)鈴木・川村 , 鎌山・大木(8-1)市川・村井 (一般) (日ベル)

<決勝>

米田・高瀬(3-6)鎌山・大木 (一般)

<三位決定戦>

鈴木・川村(3-6)市川・村井 (日ベル)

5月20日(日)男子ダブルス B

<1回戦>

米原・米原(5-8)渡辺・大赦 (緑風荘) , 木村・儀間(def) 相川・島田 (グリーンク)

米山・樋口(def) 鈴木・工藤 (ナカミチク) , 米沢・小林(5-8)坪井・佐藤 (グリーンク)

<2回戦>

米山・樋口(3-8)小川・渡辺 (グリーンク) , 工藤・神谷(def) 原田・進藤 (明乳ク)

<決勝>

大和田・須崎(6-4)小川・高田 (日ベル) (グリーンク)

<3位決定戦>

渡辺・島田(6-2)小川・田中 (グリーンク) (グリーンク)

5月27日(日)女子ダブルス

<1回戦>

桑原・山口(4-8)桜井・桜井 (グリーンク) , 木村・柳(8-4)菅野・菅野 (一般)

<2回戦>

武谷・山口(8-2)米村・塚沢 (一般) , 武田・高橋(4-8)山田・小幡 (緑風荘)

中根・山崎(8-3)村山・遠藤 (UIク) , 宮崎・有川(5-8)福留・鈴木 (緑風荘)

竹内・桜井(1-8)草野・三宅 (日ベル) , 下谷・栗原(def) 宮城・二宮 (一般)

早川・森(def) 大亦・池田 (明乳) , 藤岡・須藤(1-8)鎌山・砂原 (一般)

木村・柳(8-1)高橋・森川 (北山ク) , 若林・広川(8-0)木内・久保 (明乳)

川下・田畑(8-7)高山・村山 (北山ク)

<3回戦>

武谷・山口(8-0)山田・小幡 (緑風荘) , 中根・山崎(5-8)立河・川名 (北山ク)

下谷・栗原(8-2)大亦・池田 (明乳) , 木村・柳(8-5)若林・広川 (明乳)

川下・田畑(0-8)渡辺・坪谷 (日ベル)

<4回戦>

武谷・山口(8-1)立河・川名 (北山ク) , 下谷・栗原(3-8)鎌山・砂原 (一般)

木村・柳(3-8)渡辺・坪谷 (日ベル)

<準決勝>

武谷・山口(8-1)桜井・桜井 (グリーンク)

<決勝>

武谷・山口(6-4)渡辺・坪谷 (日ベル)

<3位決定戦>

桜井・徳本(6-4)鎌山・砂原 (グリーンク) (一般)

新入会希望者の受入れについて

6月は東村山市民テニスクラブ協議会の新入会希望者の受付の月です。

基本的な受付の手続きは例年と変わりありませんが、会員の皆様のご家族、お知り合いで入会希望の方が居られましたら、下記の要領で申し込んで下さい。

1. 入会できる条件は、東村山市内に左住の方に限ります。
2. 申込の手続きは必ず本人がコートに来て行なって下さい。
3. 申込用紙は、柳会長が常時携帯していますが、各クラブの会長に申し出て戴ければ受付けます。
4. 申込に当たっての登録事項は

(1) 氏名	(4) 勤務先
(2) 住所	(5) テニス歴(軟式経験者は明記)
(3) 電話番号	
5. 入会金2,000円と会費4,200円(月額700円×6ヶ月分)合計6,200円を納入して下さい。
6. 受付期間は、6月1日より6月30日まで、厳守です。

〔お知らせ〕

柏崎ローンテニスクラブ 事務局長・野村信一さん の結婚式に「慶電」

5月26日の結婚式に、東村山市テニス連盟会長・太田芳郎先生および東村山市民テニスクラブ協議会会長・柳利夫氏の名で、お慶びの電報もうちました。

野村さん、おめでとうございます。婦唱夫随で腕をみかいて、今秋の対抗試合にはぜひおふたりで……。お待ちしております。

藤野さん お便りありがとうございます。テニキテがみえるようです。

春の市民大会に出られなかった方も、秋を目標にがんばりましょう。

新体連・東京都連盟総会で 機関紙コンクール「ガット」二位受賞

さる3月4日、渋谷区の恵比寿会館を会場に100余名の代議員が出席して開催された新日本体育連盟・東京都連盟の第15回定期総会の席上、機関紙コンクールが行なわれ、私たち市民テの機関紙「ガット」が機関部門で見事二位の栄冠・賞状を得ました。

同連盟としての機関紙コンクールは今回から始められたもので、①クラブの部 ②機関の部 と二部門からなり、過去一年間の発行実績をもとに①定期化②内容のおもしろさ③レイアウトなどを総合して審査されました。機関の部では、一位がスキー協の機関紙、二位が市民テの機関紙、三位は杉並区連盟ニュース、同率入賞で三位は中野区連盟ニュースでした(審査員数は30余員)。

なお、クラブの部の審査員数は80余員ありました。

